

第 203 号 内容紹介

1, J・サックス「国連安保理の継続がとわれている」

問われているのはベネズエラの政府がどういう性質なのかではない、問題は、いかなる加盟国であれ、武力、威圧、あるいは経済的締め付けによって、ベネズエラの政治的将来を決定したり、その内政を支配したりする権利を有するのかどうかだ。米大教授の国連安保理での発言。

2, トランプ他「ベネズエラ攻撃についての記者会見全文」

ベネズエラ攻撃直後におこなった政権幹部の記者会見。目的は石油資源と利権の確保など、国際法を無視したならず者政権ぶりを示した発言の全文。

3, 西谷修「ドンロー主義の由来と現在～国際法秩序の外の自由」

世界を揺るがすトランプ主義とモンロー主義の由来をアメリカ建国にさかのぼって文明史的に解明、「国際法は必要ない」と公言する指導者の本質を剥抉する。日本 AALA 主催の報告会での発言原稿。全文は長周新聞 1 月 12 日付に掲載。

4, D・ロドリゲス「私たちは二度と植民地の奴隸にはならない」

攻撃のあと就任した大統領代行が国防評議会と共同で発表した発言の全文。

5, ディアスカネイロ「アメリカの国家テロを糾弾する」

攻撃直後、ハバナでの抗議集会でのキューバ議長の演説

その他の記事は「AALA ニューズ編集日記」で参照できます（[aala news の編集日記](http://aala-news.com/)（livedoor 愛用紹介 r.jp））